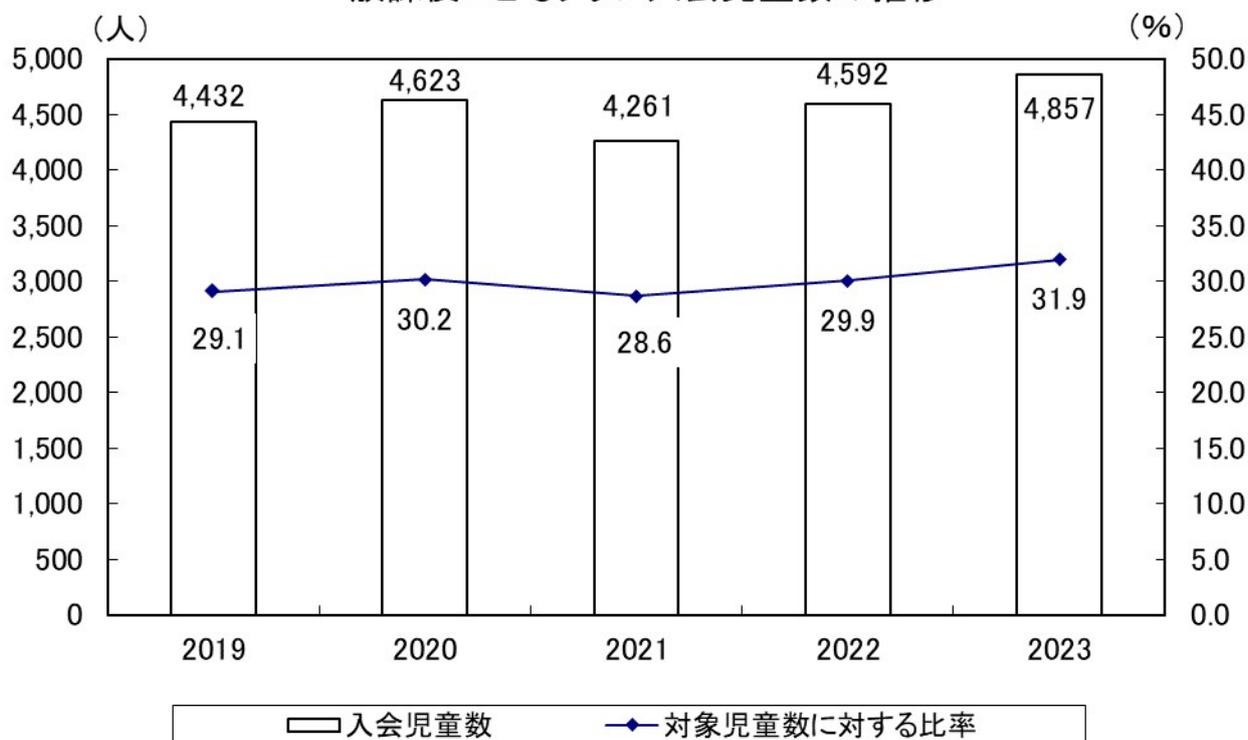


# VII. 学校を拠点とした放課後の子どもの居場所づくりの充実（新・放課後子ども総合プラン★）

## (1) 放課後こどもクラブ及び地域子ども教室の運営

放課後こどもクラブ入会児童数の推移



資料：豊中市教育委員会学び育ち支援課（各年5月1日現在）

とよなか地域子ども教室(※1)の状況					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
箇所数(力所)	40	39	38	39	34
延べ参加者数(総数:人)	102,427	14,003	17,392	39,387	44,843
延べ参加者数(子ども:人)	80,958	11,122	14,005	31,515	36,300
延べ参加者数(大人:人)	21,469	2,881	3,387	7,872	8,543

資料：豊中市教育委員会事務局学び育ち支援課調べ

※1 地域子ども教室：学校や公共施設を活用して、安心・安全な居場所(活動拠点)を設け、子どもたちが放課後や週末等に地域の大人と交流しながらスポーツや文化活動など様々な体験活動を行っている。

※ 平成16年度(2004年度)から平成18年度(2006年度)は国委託事業。平成19年度(2007年度)からは国・府の補助事業、平成24年度(2012年度)からは国の補助事業となり、小学校を中心に事業展開を図るなど制度変更あり。

★は資料編「用語の解説」をご覧ください

## (2)両事業の一体型運営の取組み

地域子ども教室につきましては、各小学校区において、地域のボランティアにより安全・安心な居場所づくりとして、学習やスポーツ、文化活動など地域の特性を活かした取組みが行われています。活動を通じて子どもたちが地域の大人たちと交流し、地域でのつながりづくりの機会となりました。

学校を拠点とした地域社会全体で子どもたちの学びや育ちを支える環境づくりを推進するために、地域子ども教室と関連する、放課後こどもクラブ事業、放課後等の児童の居場所づくり事業の連携、効果的な組み合わせを検討することにより、子どもたちの居場所の充実を進めます。

## (3)放課後等の児童の居場所づくり事業

すべての就学児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、各校に見守り員を配置し、授業終了後の校庭開放事業を実施しました。令和5年度（2023年度）は、令和4年度（2022年度）の10校から25校へと実施校数を拡大しました。利用者の声としては、「見守り員がいるので安心できる」「放課後子どもクラブ対象でない5、6年生も利用できるのがよい」「校庭のような広いスペースが近隣にないのでよい」「交友関係が広がる機会になる」などが上がりました。

今後も引き続き、全校実施に向け取り組んでいきます。

### ■放課後等の児童の居場所づくり事業実施校（小学校）

2016年度	大池
2017年度	大池、野畑、西丘
2018年度	大池、野畑、西丘、寺内
2019年度	大池、野畑、西丘、寺内
2020年度	大池、野畑、西丘、寺内、豊島西、桜井谷、東丘、高川、刀根山、新田南
2021年度	大池、野畑、西丘、寺内、豊島西、桜井谷、東丘、高川、刀根山、新田南
2022年度	大池、野畑、西丘、寺内、豊島西、桜井谷、東丘、高川、刀根山、新田南 参加人数：延べ77,161人
2023年度	大池、野畑、西丘、寺内、豊島西、桜井谷、東丘、高川、刀根山、新田南、 克明、桜塚、熊野田、豊南、上野、北丘、東豊中、南丘、豊島北、泉丘、少路、 箕輪、桜井谷東、東泉丘、北緑丘 参加人数：延べ264,578人